

平成 30 年 7 月 27 日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院脳神経外科において振戦で手術を受けられた患者さんへ

和歌山県立医科大学脳神経外科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

定位脳手術の至適ターゲットにおける拡散テンソル画像所見の後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学脳神経外科講座 講師 西林宏起

3. 研究の目的

振戦に対する定位脳手術が成否は、適切なターゲットを選択する事に左右されます。これまでは手術中に脳深部の電気刺激や脳波を参考にターゲットを決めてきましたが、術前の拡散テンソル画像によって同定できれば、非侵襲的にターゲットを決めることが可能になります。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

振戦の患者さんで、平成 25 年 1 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの期間中に、定位脳手術を受け、術前に MRI (拡散テンソル画像の検査) を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、疾患名、手術転帰、MRI 画像に関する情報です。

(3) 方法

当科では、拡散テンソル画像の特殊な解析によって脳深部の神経線維連絡を判定し、手術効果の高い部位を術前に同定しようとしています。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学脳神経外科講座 担当医師 西林宏起

TEL : 073-441-0609 FAX : 073-447-1771

E-mail : hirokin@wakayama-med. ac. jp